

大震災・復興ニュース（第6報）

平成23年5月27日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射能測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、東北大学の協力を得て放射能測定を実施したので、その結果をお知らせする。

- ・測定年月日：平成23年5月25日
- ・測定分析機関：東北大学（大学へ御協力依頼による）
- ・測定結果：全てにおいて飲食制限に関する指標値を下回り、安全性に問題ないことが確認された。

測定結果は以下のとおり。放射能の値は採取日における値を示している。

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
マコガレイ	仙台湾	不検出	3.7
ヒラメ		不検出	不検出
ミズタコ	牡鹿半島沖	不検出	不検出
キタムラサキウニ	七ヶ浜地先	不検出	2.9
エゾアワビ		2.1	5.2

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質の暫定規制値（魚介類）

放射性ヨウ素：2,000Bq/kg

放射性セシウム：500Bq/kg

<担当>

- ・農林水産物の放射能検査に関すること（食産業振興課食産業企画班）
- ・放射能・放射線及びその測定に関すること（原子力安全対策室安全対策班）
- ・採取品目，採取場所，流通等に関すること（水産業振興課流通加工班）

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

県管理漁港内及び漁場の啓開(けいかい)作業状況（担当：漁港漁場班，水産振興班）

県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、

- ・荒浜漁港では5月9日から作業に着手し、70%程度完了しているが、泊地内への支障物が多いことから引き続き5月末完了に向けて作業中である。
- ・磯崎漁港は、6月初旬から再開する予定である。
- ・桂島漁港は、泊地内の支障物撤去を5月19日に着手し、20日に完了した。
- ・漁場の啓開作業は、5月18日から松島湾の確認測量を行っており、撤去作業は23日から松島湾（桂島周辺）で着手した。



荒浜漁港内の啓開作業風景

漁港の応急復旧状況（担当：漁港漁場班）

- ・塩釜漁港魚市場のエプロン補修は、95%程度完了しており5月末には完了する予定である。
- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間を1次応急工事として大型土のうによる仮締切堤を4月27日から着工し、6月末までには完了する予定である。



一部完了した塩釜漁港魚市場南側岸壁の応急復旧工事（H23.5.23 現在）

災害調査について（担当：漁港漁場班）

荒浜漁港海岸の災害査定が5月26・27日に予定していたが、水産庁等の都合により延期となった。日程等が決定しだい本ニュースで報告する。

小型漁船の（船外機）の修繕について（担当：漁港管理班）

全漁連，（社）日本舟艇工業会，（社）海洋水産システム協会では連携し，応急的な小型船（船外機船）の修繕を行う方向で，現在場所の選定等を進めています。

当部管内では，東松島市と亘理町荒浜漁港の2カ所の選定を検討しております。

水産漁港部内に「相談窓口」を設置

今回，漁業復興に関連した相談のための窓口を設置したので，お気軽にご相談下さい。

窓口：菅原信彦（部長），松浦良（技術次長），太田裕達（技術次長），佐藤崇（主任主査）

<トピックス>

漁業復興に関する打合せ会が開催された

平成23年5月23日午前10時から宮城県漁協塩釜総合支所において、「漁業復興に関する打合せ会」が宮城県の主催で行われた。会議には関係市町担当者，漁協関係者及び県関係者を含め約130人が出席した。会議では，水産庁及び県からの予算及び事業内容の説明に対し，活発な意見交換が行われた。また，個別の相談に対しては，水産漁港部で相談窓口を設置して対応することとなった。